

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	令和7年度第2回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会
開催日時	令和7年10月20日（月）午後2時00分から午後3時25分まで
開催場所	生涯学習センター 研修室1
出席者 （欠席委員・説明者）	<p>汲田委員長、嶋副委員長、浅田委員、萩岡委員、岩井委員、松本委員、伊藤委員、石黒委員(老人クラブ)、柴田委員、宮田委員、小林委員、塚本委員</p> <p>欠席委員：丹羽委員、石黒委員(市民委員)</p> <p>説明者：佐野福祉部長、浅田長寿介護課長、新中須主幹、石井統括主査、田中主任、大藪主事、岩倉市地域包括支援センター森氏、株式会社エディケーション大野氏</p>
会議の議題及び報告	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（１）岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート（案）について</li> <li>（２）令和8年度地域包括支援センター運営方針（案）について</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（１）岩倉市高齢者保健福祉計画等における地域分析について</li> <li>（２）自立支援・重度化防止の取組の指標について</li> <li>（３）認知症施策の進捗について</li> </ul>
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査の概要及び岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート各種（案）（資料１）</li> <li>・ 令和8年度岩倉市の地域包括支援センター運営方針（案）（資料２）</li> <li>・ 岩倉市高齢者保健福祉計画等における地域分析について・地域分析・検討結果記入シート（資料３－１）</li> <li>・ 地域分析グラフ（資料３－２）</li> <li>・ 自立支援・重度化防止の取組の指標について（資料４）</li> <li>・ 認知症施策の進捗について（資料５）</li> </ul>
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 挨拶

2 議事

事務局からの説明をもとに委員長が進行

議題（１）岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート（案）について

資料１に基づいて事務局より説明（一般高齢者・要介護・要支援）

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

委員：一般高齢者の１ページ目の問３の選択肢の「４．民間賃貸住宅（一戸建て）」と「６．借家」の違いは何か。国のひな型のとおりか。

事務局：国のひな型のとおりです。

委員：選択肢６は、選択肢３、４等と混同しないような補足とかを検討しても良いと思う。

事務局：検討します。

委員：２ページの問７・１の通院頻度の選択肢で、４カ月以上に１回というのは想定していないのか。その他を設けて記述式にしても良いと思う。

事務局：検討します。

委員：４ページの問１７の身長・体重の数値をどこまで記載するのかがわからないので、小数点以下の扱いを補足しても良いと思う。

事務局：検討します。

委員長：２ページの問９にたばこに関する設問があり、一般的にお酒とたばこはセットな気がするが、お酒は認知症等に関係ないから外しているのか、全国的にたばこだけで良いという認識なのか。

事務局：厚生労働省が示した調査項目のうち、たばこは必須項目で、お酒はオプション項目です。岩倉市のアンケートは、必須項目のたばこのみの設問としています。

委員：要支援の１３ページの問６４の「虐待してしまうことがありますか。」となっている設問の選択肢３が「したいと思うことはある」となっており、設問と繋がっていないため、「してしまいそうになることはある」等にした方が適切かと感じる。

事務局：表現を検討します。

委員：一般高齢者の１２ページの問５１の前に問６２の「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。」という設問から進んだ方が答えるのがスムーズにいくのではないかと思います。国の何かのアンケートで「自分だったら認知症になった場合の暮らしとして、どのように暮らしたいですか」というような設問があり、それに対し、「自分だったら自ら工夫して、地域で今までどおり生活していきたい」とか、「自分がもしも認知症と診断されたとか認知症となった家族がいた場合どうしたいか」、「自分がどのように暮らしたいか」を選択する回答項目があった。そういうものも入れなくて良いのか。

事務局：設問の追加を検討します。

委員：一般高齢者の対象者 1,000 人の考え方は国から示されているのか。

事務局：アンケートに必要な母数をふまえ、設定したものです。

事務局：一般的には母数は 300 あると方向性というのが示されると言われています。岩倉市の人口規模であれば 1,000 人あれば傾向が把握できると考えています。国の抽出方式の調査の場合、2,000 人程度で実施することもありますので人口規模によって必ずしも母数が増えるわけではありません。

委員長：要介護度を記載する欄がないが良いか。分析に影響があるように思う。

事務局：アンケートに附番した番号により回答者はわかるため、事務局で要介護度の把握は可能です。

委員長：アンケートに答えた方は、事務局が自身が答えたものだと思われるような記載はあるのか。アンケートの倫理上 1 番大事である。統計的に調査されて、個人は特定されないというのはわかるが、誰に送って誰から回答がないのかが事務局がわかっているということは、現状のアンケート（案）の記載ではわからない。

事務局：明確に記載されているわけではありませんが、個人情報の取扱いの中に事務局による介護度等の把握についても、同意いただいた上で回答されていると考えています。

委員長：問い合わせに対してそのような回答で良いか。

事務局：あらかじめ記載するかも含め、検討します。

委員長：岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート（案）については、承認事項となります。一般高齢者、要支援、要介護の方へのアンケートについて、追記修正分も含めて承認の場合は挙手にてお願いします。

（挙手全員）

承認されました。

資料 1 に基づいて事務局より説明（介護支援専門員・事業所）

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

委員：介護支援専門員の問 12 について、素直に書いた場合、ケアマネジャーの不利益にならないか不安。アンケートに答えた事業所やケアマネジャーが指導対象にならないという記載は出来ないか。また、介護支援専門員のアンケートは事業所に 1 つか介護支援専門員 1 人につき 1 つなのか。

事務局：回答したことにより、指導対象など回答者へ不利益にならないように記載については検討します。介護支援専門員アンケートは所属している介護支援専門員一人一人に回答をお願いします。

委員：7 種類のアンケートそれぞれの発送数を教えて欲しい

事務局：一般高齢者 1,000 人、要支援約 700 人、要介護約 900 人、介護支援専門員 市内 14

市外約 30、介護サービス提供事業所（在宅）市内 25 市外約 80、介護サービス提供事業所（CM）市内 16 市外約 30、介護サービス提供事業所（施設）市内 7 市外約 24 となります。

委 員：市内のケアマネジャーは足りているのか。

事務局：市内でケアマネジャーと契約が出来ない等の意見は聞いていません。

委員長：岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート（案）については、承認事項となります。介護支援専門員、事業所へのアンケートについて、追記修正分も含めて承認の場合は挙手にてお願いします。

（挙手全員）

承認されました。

#### 議題（２）令和８年度地域包括支援センター運営方針（案）について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

（特になし）

委員長：令和８年度地域包括支援センター運営方針（案）については、承認事項となります。承認の場合は挙手にてお願いします。

（挙手全員）

承認されました。

### ３ 報告

#### 報告（１）岩倉市高齢者保健福祉計画等における地域分析について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

委 員：人口構成の影響というのは何を意図しているのか。

事務局：人口構成の影響については、各市町村にお住まいの方の年齢や性別の構成比率にバラつきがあり、年齢が高い方が多くいる自治体は、認定率も高く出る傾向があります。男女比では、女性の方が平均寿命が長く、女性が多い方が認定率が高めに出やすいという傾向があります。そのような人口構成による影響を取り除いたものが「調整済み」の数値です。厚生労働省からは、調整済みの数値を使って地域分析を行うことが推奨されています。調整済みの数値を使用しても数値が目立つ際は、その点が自治体の特徴となります。岩倉市では、通所リハビリテーションがそれに当たります。

委 員：整備できているということか。

事務局：通所リハビリテーションについては、そのように考えています。通所介護は、岩倉市は利用が少ないので、それが利用者の選択なのか、資源として足りてないのかという点は分析していかないといけないと思っています。

## 報告（２）自立支援・重度化防止の取組の指標について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

（特になし）

## 報告（３）認知症施策の進捗について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありました。ご質問等ありますか。

委 員：認知症サポーターの養成講座で、令和６年度が、令和４年度・５年度と比べて少ない理由は何か。

事務局：令和６年度の５回の内訳ですが、介護サービス事業所、市役所の新規職員、小学校２校（４年生対象）、企業になります。養成講座受講の募集について周知していますが、結果的に５件でありました。

委 員：介護保険の財源で公費負担の割合以上に一般会計から介護保険特別会計に繰入れていることはあるか。

事務局：介護給付費では、公費負担割合以上の繰入れはしていません。

委 員：独自の事業ではあるか。

事務局：介護予防・日常生活支援総合事業の中で実施しています。

## ３ その他

事務局：次回は令和８年２月の予定です。